３年福祉保育コース「介護過程」（選択科目）多職種の外部講師から学ぶ
令和４年７月２１日（木）５時間目

ひまわり館・ひまわりキッズ館講座

社会福祉法人　木犀会　ひまわり館・ひまわりキッズ館
管理者　大竹　康博　様
主任支援員　清水　美由希　様
（茨城県社会福祉協議会より紹介　ふくし“きらり人”）

昨年度に引き続き、生徒のために昨年度とは違った内容を吟味してくださり、遠方にも関わらず、笠間市から来校してくださりました。

講座では、「はじめまして」から人間関係づくりが始まるというお話から、その方の印象をつかむことの大切さを学び、生徒同士でお互いに「ほめる」体験を行いました。そして、一緒に過ごす時間が長いほど、お互いのことを知ることができ、信頼関係に繋がることを学びました。そして、事業所について、大竹先生、清水先生のお仕事について学び、「多職種連携」については、種類別に全体像を分かりやすく示し、説明してくださり、今まで生徒たちが多職種の外部講師の先生方から学んだことを総合的に振り返る機会になりました。福祉の仕事は、他の仕事より直接人の役に立てること、自分も「ありがとう」を伝えることができる、相手に心を持って人生に寄り添えることを学びました。さらに、「障害とは人ではなく、その人にとって過ごしにくい環境」「同じ人間同士、何かあって、それでよい。自分が手がけたことで、相手の心配なことを安心や喜びに変えることができる、分かち合えることがやりがい」とのお話がとても印象的でした。講座後には、利用者さんの手作りのハンドメイドグッズのプレゼントをいただき、生徒も教員もとても嬉しく、温かい気持ちになりました。また、講座後には、生徒１人ひとりのワークシートの感想を見てくださり、講座での生徒の反応等を振り返り、生徒の良い所をほめてくださりました。ご指導、ありがとうございました。